

京都大学シニアキャンパス 2008

交響する身体

— 千年のときを歩く —

日 時	平成20年 10月1日(水) ▶ 10月3日(金)
会 場	京都大学吉田キャンパス・宇治キャンパス
プログラム	講義、フィールド学習、ゼミナール、授業参加 など
フィールドワーク	「源氏物語宇治十帖ゆかりの地」をたずねて
受 講 料	20,000円
協 力	京都府商工労働観光部・(社) 宇治市観光協会

問い合わせ先 京都大学教育推進部教務企画課シニアキャンパス担当 TEL 075-753-2528

詳細は京都大学ホームページに掲載しています。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/open/guide/senior>

交響する身体

— 千年のときを歩く —

京都大学シニアキャンパスは、これまで3年間「交響する身体」というテーマで取り組んできました。それは、ひとの身体のそれぞれの器官が美しいハーモニーを奏でるかのよう、学びのなかにもさまざまな響きあいを取り戻したいという想いからです。おかげさまでこの企画も4年目を迎えます。

今回は、この交響性を「いま」という、限られた「人、もの、自然」にまなざしを注ぐのではなく、過去や未来の「人、もの、自然」にまで想いをはせてみようという試みです。その単位も千年というスケールのものです。

今から1千年前、安倍吉昌が観測、後に歌人の藤原定家が日記「明月記」に記録を残した超新星SN1006を、ちょうど千年後の2006年、京大のグループが、直径50光年の巨大な火の玉に成長した姿でとらえることに成功しました。

この研究をはじめ、宇宙学という先端のテクノロジーを駆使した宇宙探査のための研究が、本学宇治キャンパスで進められています。宇宙太陽発電所からの無線エネルギー伝送の可能性を実証した実験装置や惑星間航行装置の設計など、宇宙を理解するには欠かせない装置などを公開します。また、次の千年に向けてどのような研究が進められているのかを詳しく紹介したいと思います。

おりしも、今年は源氏物語千年紀に当たる年です。宇治キャンパスのある宇治は、「宇治十帖」の舞台となった地でもあります。源氏物語とその時代について、ゆかりの地を足でたどりながら、歴

史や文芸、また当時の建築など、その時代が全体として理解できるように、さまざまな側面からスポットを当てていくことで、理解が深まればと考えています。これは本学の専門家と地元のボランティアの方々の協力によって実現した企画です。宇治に宿泊する第2日目の夜は、地元の「源氏物語を読む会」をゲストに迎えて交流の場を設けました。学ぶことの面白さを存分に語り合う場になることを願っています。

今回は、受講者のための特別講義とは別に、本学の正規の授業の中に学生と同様に受講する講義科目も用意しています。さらに、先生方の研究室訪問などを行う少人数でのミニゼミナールの時間も設けました。学問の世界をより身近に感じていただければ幸いです。

個人の歴史は地球や宇宙の歴史に比べれば、ほんのつかの間の時を刻んでいるに過ぎません。けれども、私たちは個人の歴史を超えた過去の世界や未来の世界を学ぶことによって、私たちの生きる「いま」をより深く知ることができるようになるのではないのでしょうか。

すべての人に開かれた本学のシニアキャンパスは、人生の学びを行ってきた人たちとの出会いの場です。人生という「私の大学」で学び続けてきた人と本学との出会いのなかから新しい響きあいが生まれることを心から願っています。

シニアキャンパス実施検討会

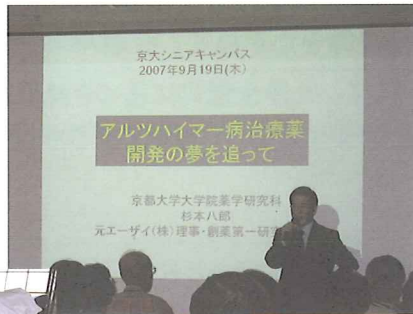
委員長 前平 泰志 (教育学研究科教授)

シニアキャンパス2007より

美山町わらびき民家



講義「アルツハイマー病治療薬開発の夢を」



フィールド学習「古地図の世界と京都」



わら細工体験



フィールド学習
「ホワイトナイルの源流を探る」

京都大学シニアキャンパス2008概要

日時

2008(平成20)年**10月1日(水)～10月3日(金) 2泊3日**

場所

京都大学吉田キャンパス・宇治キャンパス・宇治市内他

宿泊所

〈9月30日(火) 10月1日(水)〉

京大会館

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 [電話:075-751-8311(代)]

芝蘭会館別館

〒606-8302 京都市左京区吉田牛の宮町11-1 [電話:075-771-0958]

京都ロイヤルホテル&スパ

〒604-8005 京都市中京区河原町三条上ル [電話:075-223-8977]

〈10月2日(木)〉

亀石樓 〒611-0021 宇治市宇治紅齋29 [電話:0774-21-2178]

宿泊申込方法等は、別紙「参加申込書」をご覧ください。

参加費

受講料**20,000円**

受講料の中には、プログラム内での移動交通費、記念写真代及び関係施設等の入場料を含んでいますが、個人の宿泊費、交通費、飲食費及び懇親会費は含んではいません。なお、これらの支払方法や期限等については、後日、参加決定者にお知らせします。

募集定員

50名(広く社会人の方を対象としており、年齢は問いません)

申込者が募集定員を超えた場合は、本学の厳正なる抽選で参加者を決定します。

申込方法

「参加申込書」に必要事項を記載し、**8月29日(金)(必着)**までに、

「〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育推進部教務企画課 シニアキャンパス担当係」宛にお送りください。

また、FAX、インターネットを利用して申し込むこともできます。このパンフレットの記載内容は、京都大学ホームページにも掲載されています。

ホームページアドレス	http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/open/guide/senior
メールアドレス	senior2008@www.adm.kyoto-u.ac.jp

なお、電話での申込受付はいたしませんので、ご注意ください。

参加可否の通知

参加の可否を9月上旬頃、発送・通知します。参加決定者には併せて、受講料の支払方法(銀行振込み)等、シニアキャンパス関係資料を送付します。

協力

この企画は、京都府商工労働観光部・(社)宇治市観光協会の協力を得て実施します。

問い合わせ先

京都大学教育推進部教務企画課「シニアキャンパス担当係」

電話:075-753-2528(平日13時～17時) FAX:075-753-2485

個人情報について

「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

(この規程は、上記の京都大学ホームページ <http://www.kyoto-u.ac.jp/> に掲載しています。)

- 宿泊申込の際に記入された個人情報は決定宿泊先に提供しますのでご了承ください。
- 今回取得した個人情報は、シニアキャンパスの目的及び宿泊申込のために使用し、それ以外のことに使用することはありません。
- シニアキャンパスの記録のため、写真やビデオを撮影し、ホームページ等に掲載することがありますので、ご了承ください。

日程およびプログラム

月日 時限	10月1日 水 (1日目)	10月2日 木 (2日目)	10月3日 金 (3日目)
午前	受付 9時30分～10時00分 (京大吉田キャンパス 百周年時計台記念館) 開講式・オリエンテーション 10時00分～10時30分 オープニング講義 「一学びを編みなおす」 前平 泰志教授 (教育学研究科) 10時30分～11時00分 参加者交流タイム 11時00分～11時30分	出発 8時45分 ▼ (バス移動) 京大宇治キャンパス 講義2 「京都1000年の天文学散歩」 小山 勝二教授 (理学研究科) 10時00分～11時10分 施設見学 京大宇治キャンパス ▼ (バス移動) 宇 治	出発 8時45分 ▼ (バス移動) 京大吉田キャンパス 自由な学びの時間 10時00分～11時30分 
昼休み	各自昼食 (生協食堂等、 学外周辺施設) 11時30分～ 13時00分 	昼食	各自昼食 (生協食堂等、学外周辺施設)
午後	講義1 「西暦1000年前後の平安京」 西山 良平教授 (人間・環境学研究科) 13時00分～14時10分 授業参加企画1 「国語国文学基礎論 I B」 島崎 健准教授 (人間・環境学研究科) 14時45分～16時15分 学びの夕べ (A・Bを選択) A: ナイトミュージアム (総合博物館) 大野照文教授 (総合博物館) 17時30分～18時30分  B: フランソア喫茶室 「京都に残る豪華客船公室の面影」 (四条木屋町にて現地ゼミ) 佐藤 裕一助教 (工学研究科) 18時00分～19時30分 (現地解散)	フィールドワーク 「宇治十帖ゆかりの地を たずねて」 13時00分～17時00分 宇治平等院他 岸 泰子助教 (工学研究科)  夕食・懇親会 18時00分～19時15分 学びの交流 (源氏物語を読む会との交流) 19時30分～20時30分 宿泊 (宇治亀石樓)	授業参加企画2 (自由選択) 13時00分～14時30分  学びを振り返るゼミナール 渡邊 洋子准教授 (教育学研究科) 14時45分～16時30分 修了式 16時30分 修了証書交付 記念写真 アンケートへの記入 解散 17時00分

(注) プログラムは、都合により一部変更になることもありますので、予めご了承ください。

講義1 西暦1000年前後の平安京 西山 良平 教授(人間・環境学研究科)

今から1000年ほど前の平安京に立ち戻ってみます。ちょうど、紫式部の『源氏物語』が書かれた頃でした。そのころの平安京は、それまでの古代的な都から新しい姿に変貌していったと考えられます。平安京の住人のあり方や住まいの様相から、この変化を見ていきます。『源氏物語』とは違った、時代の相貌がかいま見れると思います。

授業参加企画1

京都大学で開講されている全学共通科目「国語国文学基礎論IB」の後期第1回目の授業を大学生と席を同じくして受講していただきます。

「国語国文学基礎論IB」 島崎 健 准教授(人間・環境学研究科)

古典和歌歳時記 一旧暦に基づいて古典和歌を読み、そこに描かれた四季折々の風情、折節の人々の心をさぐる—

学びの夕べ

A:ナイトミュージアム

大野 照文 教授(総合博物館)

夜の博物館には独特の雰囲気がかかります。日暮れ時から夜にかけて、博物館内の展示を見学、異次元を満喫します。探検大学と異名をとる京都大学の海外での活動を紹介している理系の常設展示を中心に、解説パネルからは読みとることのできない面白さを教員がお伝えします。

ナイトミュージアムに相応しいオドロキもいま準備中です。

B:フランソア喫茶室—京都に残る豪華客船公室の面影— (四条木屋町にて現地ゼミ)

佐藤 裕一 助教(工学研究科)

京都・四条木屋町下ルの老舗喫茶店「フランソア喫茶室」は豪華客船公室を模した美しいインテリアで知られ、平成14年(2002年)に国登録有形文化財に指定されました。この喫茶室は、戦前の一時期に発刊された雑誌「土曜日」にゆかりあることでも知られています。

この講義では、喫茶室の建築上の価値を紹介するとともに、戦前の市民運動の中で生まれた雑誌「土曜日」との関わりについて考えます。

講義2 京都1000年の天文学散歩 小山 勝二 教授(理学研究科)

一條院の時、京の南空に突然明るい星が現われた。1000年の時を翔けて、この星が現代の宇宙学の進歩に大きく貢献する。過去の歴史と現代の宇宙学、その接点を巡って古都を散歩する。

フィールドワーク「宇治十帖ゆかりの地をたずねて」宇治平等院 岸 泰子 助教(工学研究科)

平等院鳳凰堂は、貴族の間で流行していた浄土信仰に基づき藤原頼通が建立した阿弥陀堂です。本講義では、その鳳凰堂を中心に、平等院の歴史や建物について現地で解説を行います。

自由な学びの時間

複数のミニゼミ(研究室訪問・実験室見学・フィールド学習等)の中から受講者が関心のあるミニゼミを選択し、教員とフェイス・トゥ・フェイスの距離で接し、学んでいただく時間です。

授業参加企画2

受講者が関心のある授業を選択し、参加することができます。

10月1日(1日目)

10月2日(2日目)

10月3日(3日目)

京都大学（吉田キャンパス）周辺マップ



宇治周辺マップ



—吉田キャンパスへのアクセス—

- 京都駅（JR・近鉄）から京都市バスで約40分
- 阪急河原町駅から京都市バスで約25分
- 京都市地下鉄烏丸線今出川駅から京都市バスで約15分
- 京都市地下鉄東西線東山駅から京都市バスで約15分
- 京阪出町柳駅から徒歩で約15分

—宇治キャンパスへのアクセス—

- 吉田キャンパスから連絡バスで約50分
- 京都駅からJR奈良線で約30分
- 京阪出町柳駅から中書島乗り換えで約40分